

博士後期課程学生への授業料半期分相当額支援について

平成19年度後期より、理工学研究科博士後期課程学生の研究遂行能力の向上を図るため、希望者に授業料の半期分相当額の支援を行っております。平成20年度も下記の要領で同支援を行いますのでご案内いたします。

- 助成対象学生：在学生（ただし、国費留学生は除く）
- 助成期間：入学時より3年間（休学期間も含む）
- 支給方法：在学生・・・RAとして採用し支給する（半期につき100時間を上限）
社会人・・・教員に対する研究支援業務の対価として支給する
在学生（取扱・申請様式をご参照下さい）
社会人（規則・申請様式をご参照下さい）
- 問合せ・申し込み先：事務ユニット企画総務チーム 担当者：國分 裕基

Tel: 0238-26-3005

e-mail: koukikaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

国立大学法人山形大学大学院理工学研究科博士後期課程（工学系）
学生への研究支援業務における対価の支給に関する内規

（趣旨）

第1条 この内規は、国立大学法人山形大学大学院理工学研究科（工学系）（以下「理工学研究科」という。）において、教員に対する研究支援業務を行った者への対価の支給に関する取扱いについて定める。

（対価の支給を受ける者）

第2条 対価の支給を受ける者は、理工学研究科の学生のうち、社会人学生とする。ただし、対価の支給を受けることが出来るのは入学時から3年間とし、休学期間も算入するものとする。

（対価の支給手続）

第3条 対価の支給手続は、以下により行うものとする。

- （1）対価の支給を希望する者は、当該年度当初に所属研究室で指導教員が行う研究に対する支援業務計画を研究支援業務計画調書（様式第1）に記入し、指導教員の確認を受けた後に研究科長の承認を得るものとする。
- （2）前号により承認を受けた者は、毎月10日までに前月の研究補助の進捗状況等を研究支援業務に係る実績報告書（様式第2）にまとめ、指導教員の確認を受けたのち、研究科長に提出するものとする。

（対価の支給の決定）

第4条 対価の支給は前条の手続きを経て、研究科長が決定し、運営会議に報告するものとする。

（対価の支給）

第5条 対価の支給は、対価の支給を受ける者の銀行等口座への振込によって行うものとする。

（対価の支給額）

第6条 対価の支給額については、以下の通りとする。

- （1）対価の支給額は、半期につき130,000円とする。
- （2）前3条2項に規定する研究支援業務に係る実績報告書の提出状況及び内容、または本学部の財務状況等やむを得ない事由によって対価の支給額が減じられることもある。
- （3）前号による対価の支給額の減額は、研究科長が決定する。

（対価の支給の時期）

第7条 対価の支給の時期は、10月、4月の年2回とする。

附 則

- 1 この内規は、平成19年10月9日から施行する。

平成20年度 研究支援業務計画調書

【記入見本】

	候補者 1	候補者 2
研究プロジェクト等の名称	〇〇の合成と△△特性に関する研究	
指導(受入)教員職・氏名	教授 米沢太郎 印	
研究の概要	……状態における〇〇〇の合成反応と△△△の特性を解明し、××××での反応との関連を検討する	
支援業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実験器具, 装置, 資料の調達と準備 ・～～～現象のシミュレーション ・データの収集と整理 ・文献調査 ・〇〇〇の合成に関する補助業務 	
ふりがな	やまがた かずお	
大学院学生氏名	山形 一男 印	
性別	男	
生年月日 (H19.4.1の年齢)	昭和56年10月31日生(25歳)	昭和 年 月 日生(歳)
専攻・講座	物質生産工学専攻	専攻
入学年度	平成 19 年度入学	平成 年度入学
研究テーマ	～〇～☆～△～※～に関する研究	
その他		

◆注意事項

- 1 「研究の概要」欄には、院生が研究支援業務を行う研究プロジェクト等の具体的な内容について記入下さい。
- 2 「補助業務の内容」欄には、院生が行う補助業務の具体的内容について簡明に記入下さい。

平成20年度 研究支援業務計画調書

	候補者 1	候補者 2
研究プロジェクト等の名称		
指導(受入)教員職・氏名		
研究の概要		
支援業務の内容		
ふりがな		
大学院学生氏名		
性別		
生年月日 (H19.4.1の年齢)	昭和 年 月 日生(歳)	昭和 年 月 日生(歳)
専攻・講座	専攻	専攻
入学年度	平成 年度入学	平成 年度入学
研究テーマ		
その他		

◆注意事項

- 1 「研究の概要」欄には、院生が研究支援業務を行う研究プロジェクト等の具体的な内容について記入下さい。
- 2 「補助業務の内容」欄には、院生が行う補助業務の具体的な内容について簡明に記入下さい。

国立大学法人山形大学工学部におけるリサーチ・アシスタントの
取り扱いについて

- 1 任免関係・給与関係・報告・勤務実績の把握について
リサーチ・アシスタントの任免・給与・報告・勤務実績の把握については、平成9年3月26日付け形大人1326号通知（ティーチング・アシスタント及びリサーチ・アシスタントの取扱いについて）による。
- 2 資格について
博士後期課程に在籍する学生とする。ただし、RAとしての任用期間は入学時から3年間とし休学期間も算入するものとする。また、社会人学生及び国費留学生は除くものとする。
- 3 勤務時間について
勤務時間は半期につき100時間を上限とする。
- 4 適用について
この取り扱いは、平成19年10月9日から適用する。
- 5 その他
平成19年度RA採用者は、本取り扱い「2資格」ただし書きについて、平成19年度中は適用しない。

平成20年度 リサーチアシスタント(RA)採用計画調書

【記入見本】

	候補者 1	候補者 2
研究プロジェクト等の名称	〇〇の合成と△△特性に関する研究	
指導(受入)教員職・氏名	教授 米沢太郎	
研究の概要	……状態における〇〇〇の合成反応と△△△の特性を解明し, ××××での反応との関連を検討する	
補助業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実験器具, 装置, 資料の調達と準備 ・～～～現象のシミュレーション ・データの収集と整理 ・文献調査 ・〇〇〇の合成に関する補助業務 	
勤務時間	のべ 100時間(週 10 時間× 10 週)	のべ 時間(週 時間× 週)
時間給与	1時間あたり 1,300円	1時間あたり 1,300円
ふりがな	やまがた かずお	
大学院学生氏名	山形 一男	
性別	男	
生年月日 (H19.4.1の年齢)	昭和56年10月31日生(25歳)	昭和 年 月 日生(歳)
専攻・講座	物質生産工学専攻 ○×△※工学講座	専攻 講座
入学年度	平成 19 年度入学	平成 年度入学
研究テーマ	～○～☆～△～※～に関する研究	
その他		

◆注意事項

- 1 「研究の概要」欄には, 院生がRAとして従事する研究プロジェクト等の具体的な内容について記入下さい。
- 2 「補助業務の内容」欄には, 院生がRAとして行う補助業務の具体的な内容について簡明に記入下さい。
- 3 「勤務時間」は, 半期につき【100時間】が目安です。
- 4 時間単価は, 1,300円です。

平成 20 年度 リサーチアシスタント(RA)採用計画調書

	候補者 1	候補者 2
研究プロジェクト等の名称		
指導(受入)教員職・氏名		
研究の概要		
補助業務の内容		
勤務時間	のべ 時間(週 時間× 週)	のべ 時間(週 時間× 週)
時間給与	1時間あたり 1,300円	1時間あたり 1,300円
ふりがな		
大学院学生氏名		
性別		
生年月日 (H19.4.1の年齢)	昭和 年 月 日生(歳)	昭和 年 月 日生(歳)
専攻・講座	専攻 講座	専攻 講座
入学年度	平成 年度入学	平成 年度入学
研究テーマ		
その他		

◆注意事項

- 1 「研究の概要」欄には、院生がRAとして従事する研究プロジェクト等の具体的な内容について記入下さい。
- 2 「補助業務の内容」欄には、院生がRAとして行う補助業務の具体的な内容について簡明に記入下さい。
- 3 「勤務時間」は、半期につき【100時間】です。
- 4 時間単価は、1,300円です。